

## ROBERT'S RULES OF ORDER ロバート議事法

Robert's Rules of Order ロバート議事法は会議が公平、効率的、民主的かつ秩序正しく運営されるための議会運営規定として広く認知されています。スキルのある議長は秩序をもってすべての参加者が意見を発言できるようにすることで会議参加者全員が意見を述べ、聞いてもらえる環境を作ります。

### ロバート議事法の目的には以下が含まれます。

- 多数決の原理を確保する
- 少数派、欠席者および個別のメンバーの権利を守る
- 秩序、公正、作法を守る
- 議題審議および進行を円滑にする

### 基本原理

- すべてのメンバーに平等な権利、特典・恩恵、そして責任がある
- すべての動議・議題（motion）を自由かつ十分に話し合うことは基本的な権利である
- 1回の発言で質問は一つに限り、発言は常に1名に限る
- 採決を取る場合は、メンバーはその直前にどういう議題の採決を取るのかを明確に知る権利がある
- 議長に指名されるまで、誰も発言してはならない
- いかなる場合も個人的な見解は不適切である
- メンバーの基本的な権利に関わる議題は多数決で決議される
- メンバーの権利を奪う動議については3分の2以上の得票を必要とする（例：ディベートの中断）
- 沈黙は承諾とみなす投票しない者は投票する者に決定権をゆだねる
- チェアは常に公平な立場を維持する

## 主宰者の役割

- ディベートの間、中立を保つ。動議のメリットについて意見を述べる際は、議長の役割を放棄しなければならない。
- 議長は投票結果が同数になった場合のみに投票できる（もしくは3分の2の投票が必要な場合）例外：主宰者は投票用紙による投票の場合は投票しても良い。
- 提案（動議）は適切に説明する
- 発言者を指名する
- 動議が適切か確認する
- ディスカッションは討議中の議題に関する内容に限る
- 秩序を維持する
- 動議を採択し、結果を発表する

## 基本的な動議の扱い方

- メンバーは議長の指名を受けてから発言する
- メンバーは動議の趣旨を説明する
- 動議の審議に進むには、他のメンバーによるセカンド（動議を支持する）を要する
- 動議を審議する場合、議長は動議内容を再度発表し、ディベートを開始する（動議が審議の対象である場合）
- 
- 審議において、動議を提出した者が最初に発言することができる
- 主な動議はその従属的動議（例：「私は動議の修正を提案する」）、優先動議（例：私は動議の延期を提案する）および偶発的動議（例：「私は質問・議題を分けることを提案する」）と共に審議する
- 従属的、優先、もしくは偶発的動議の話し合い（対象である場合）は、主な動議の審議に入る前に行い、主な審議を継続する前に決議しなければならない。
- 審議の終了とは、
  - ディスカッションが終わった、もしくは
  - 3分の2の投票により審議を終了（Call the question という）

- 議長は動議を再び表明し、必要であれば肯定・否定のメリット・デメリットを明確にする
- 議長は All in favor? (賛成者は) と述べて採決をとる承認する人は Aye という (もしくは緑の Yes のカードをあげる。議長は続いて All opposed? (反対者は) と述べる反対する人は No という (もしくは赤い No のカードをあげる)。最後に All abstained? (棄権する者は) と述べる棄権する人は Aye という (もしくは黄色い Abstain のカードをあげる)
- 議長は結果を発表する。

### 基本的なディベートのルール

- 議長に指名されるまで、誰も発言することはできない
- すべての審議は現在扱っている動議・議題に関するものとする
- 各動議に対して、メンバーの発言は 1 回までとする
- 各メンバーの発言は 3 分までとする
- すべての発言は議長に対するものとし、メンバー同士のディベートは許されない
- 自分の動議に反対意見を述べることはできない (ただし、反対票を投じることはできる)
- ディベートは課題を指摘するものであり個人攻撃をしてはならない。個人攻撃や他の発言者の意志を問うことは誰にも許されない
- 主宰者がディベートに参加するためには議長の役割を他のメンバーに移譲し、当該動議の審議が終わるまで議長の役割に戻ることはできない
- 可能であれば議長は動議に対する賛成意見と反対意見を交互に聞く
- メンバーは会議を破壊してはならない
- ディベートのルールは 3 分の 2 の投票で変更することができる

### ロバート議事法は、効率的に仕事を進める！

- きちんとした動議を準備する
- きちんと発言権を得てから発言する
- 発言は明確かつ簡潔に
- ディベートのルールに従う
- そして何よりも「礼儀正しく」！ 礼節を重んじることが大事！